

ユニオンファンド 月次レポート

第 155 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2021年10月6日作成

MONTHLY TOPIC

売るか買いか、と迷ったら思い出してみてください

株式投資をしている多くの人がよく気にするのは、「今は売るべきか、それとも買うべきか」ということかもしれません。ハムレットっぽく言えば、「To buy, or not to buy」買うべきか買わざるべきか、それが問題だ、といったところでしょうか。確かに株価はしょっちゅう上がったり下がったりします。大きなチャンスやピンチばかりであり、気になるのも自然なことですが、その疑問はどれほど重要でしょうか。

寄せては返す波

P3 にも書きましたが、今の株式市場には悪材料が結構たくさんあります。いつ大きく下落してもおかしくないという警告する人もいますし、現に株価はかなり調子がおかしくなっています。ただ、株価にこうした変動がついて回るとは、元から知っていたことです。

株価の動きは浜辺に寄せては返す波そっくりです。波は海の水のほんの一部、あるいは表面で起きている小さな変化を示しているだけで、海の水の総量とは関係ありません。株価も同じで、その変動は目立ちますが、人間の活動のごくわずかな変化を映しているだけです。肝心なのは、私たちが「実体」と呼んでいる経済活動の方です。

多少の引き潮は耐えるが勝ち

私たちが長期で株式投資をする時に最も頼りにできるのは、表面上の株価ではなく、実体である経済活動の方です。株価が上がろうが下がろうが、実体まで大きく上下動しているわけでありません。最近のコロナ禍や 10 年前のリーマンショックの時には、確かに実体も落ち込みました。転びましたし、大げがもしました。しかし、そのまま立ち上がれずにオシマイ、とはなりませんでした。

1970 年代には、インフレや景気後退が今とは比較にならないほど深刻な時期がありました。それでもたいいの企業は生き残り、経済活動は 1 日も休むことなく今日まで続いています。株価は低迷しましたが、今は当時の水準をはるかに上回っています。実体が回復し、成長が続いたからにはほかなりません。もし心配すべきことがあるとしたら、実体である経済が完全に活動を停止することですが、今言われている程度の危機はそこまでひどくはなく、ちょっと大きめの引き潮くらいだと見ています。うまく売り抜けることより、株価が下がったとしても実体の回復と成長を信じて耐え抜くことの方が、資産づくりにははるかに効果的かつ実践的ではないでしょうか。

運用報告会のお知らせ

ユニオンファンドはおかげさまで第 13 期の決算を迎えました。日ごろのご支援に心より御礼を申し上げます。つきましては 11 月に運用報告会を開催します。詳細は来月号でご案内する予定です。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2021年9月末現在)

基準価額

30,215 円

純資産総額

97 億 07 百万円

期間別騰落率(%)

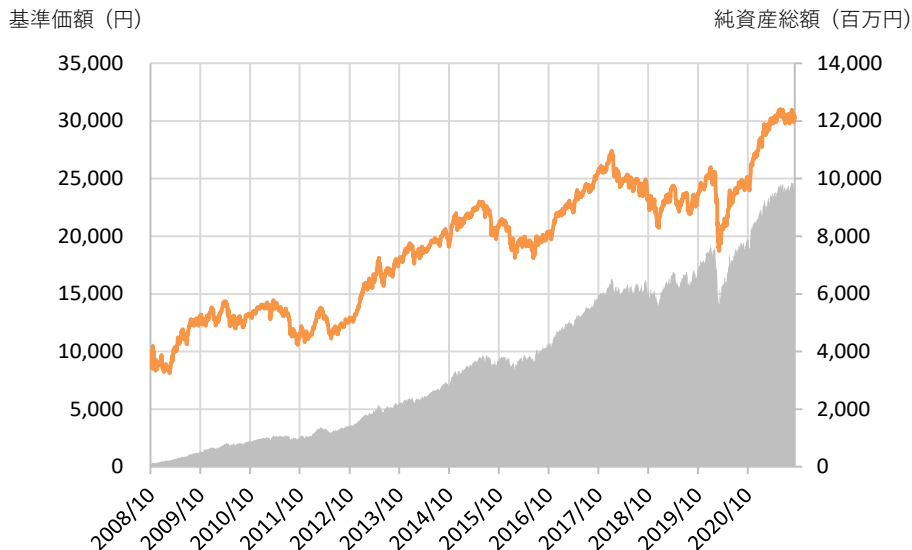
1 ヶ月	-0.54%
1 年	24.31%
3 年	21.84%
5 年	51.89%
10 年	173.74%
設定来	202.15%

複利年率(%)

8.91%

*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

基準価額と純資産総額の推移

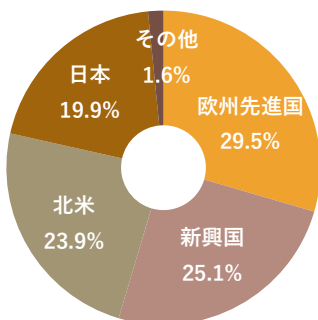


組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.5%	2.8%
スパークス F	日本	11.9%	1.7%
キャピタル F	欧米	17.3%	-1.3%
ハリス F	欧米	19.0%	-0.6%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	10.8%	-2.8%
コムジェスト・エマージング F	新興国	21.6%	-0.8%
現金等	-	13.8%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2021年8月末現在)

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2021年9月の市場動向と運用状況

投資環境

9月の株式市場は、前半こそ堅調でしたが月の半ばから大きく反落し、欧米株価はマイナス、日本株はプラスと分かれました。新興国の株価はほぼ横ばいでした。

米国株が失速したのは、量的緩和の規模を徐々に縮小する「テーパリング」と政策金利（FF金利）の引き上げが、ともに従来予想よりも早まる見通しとなったことによります。債務上限問題の混乱も警戒されました。中国株は、大手不動産会社である恒大集団の巨額債務問題を受けて月の半ばから急反落し、世界の投資家心理を冷やす要因となりました。日本株は、菅前首相の退任表明を受け、自民党総裁選と総選挙を巡る不透明感が薄れたことを好感した上昇が月の前半まで続きました。月半ば以降は反落したものの、前半の上昇幅が大きかったことから値上がりで終わりました。為替市場では米国の金利上昇予想からドルがほぼ全面高でした。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額はわずかながら下落しました。日本株の上昇で さわかみ F とスパークス F は値上がりしましたが、欧米株に投資するファンドの値下がりカバーしきれませんでした。また、コムジェスト EM F は、市場が若干上昇したものの保有する中国 IT 関連株などの下落が響き、小幅に値下がりしました。売買は見送りました。月末時点の組入比率は 86.2%とほぼ前月並みでした。

今後の見通し

恒大集団の経営危機には、住宅価格の高騰を招いた不動産業界に対する当局の規制強化という背景があります。中国では7月にも IT 関連企業や教育産業などへの規制が強化され、世界的な株価動揺のきっかけとなったばかりです。これらの規制の根底には、習近平政権が掲げている「共同富裕」という政策目標が深く関係していると考えられています。社会的不平等の是正のためなら資本家階級の利益の制限にまで踏み込むというわけです。この点から政府が恒大集団を直接救済する可能性は低いとして、同社が破綻した場合の影響を市場は懸念しています。経済状態の大幅な悪化を招く意図は政府にはないでしょうが、うまくコントロールできるか微妙なところではあります。

もう一つの懸念要素は、世界の景気が減速していることと、そうした中で金融緩和が逆転し始めていることです。新型コロナウイルス感染症で生産設備の稼働率が低下している一方で、消費は回復に転じ需要は拡大しており、結果として物価は世界的に上昇気味です。高水準の株価は、主要中央銀行の資産買入れに支えられている面がありますから、金融政策の早期転換をもたらすインフレの進行は、株価にはマイナス要因です。

とはいえ、景気の水準に比べ金融は引き続きかなりの緩和状態にあります。米国をはじめ主要国の実質金利は低く、米国ではイールドカーブが顕著に右肩上がり（長期金利が短期金利を上回る状態）となっています。これで本格的な株価下落局面に落ち込むとは考えにくいところです。コロナ禍がさらに収まれば供給も回復して景気が持ち直す可能性も増しますし、インフレも鈍化すると期待できます。

ここ数か月の間、最近のような調整場面を想定して組入比率を落としてきました。今しばらくやや慎重な投資スタンスを維持する可能性はありますが、今後の下落局面は買い増しの好機ととらえています。

運用責任者 久保田徹郎

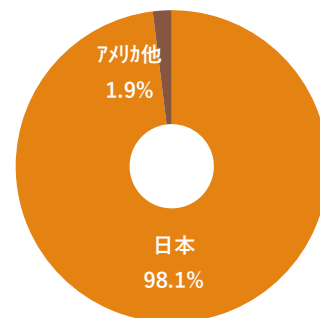
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



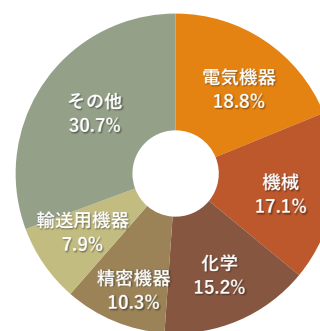
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.8%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	5.0%	日本	機械	エアコン世界首位
3 テルモ	4.3%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
4 プリチストン	4.1%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 浜松ホトニクス	4.1%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
6 信越化学工業	4.1%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
7 トヨタ自動車	2.9%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
8 TOTO	2.8%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 花王	2.8%	日本	化学	トイレットペーパー首位
10 デンソー	2.3%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカー
上位10銘柄	38.3%		現金等	7.8%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年9月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



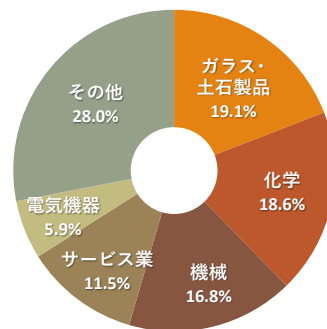
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケア		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
竹内製作所		日本	機械	小型建設機械
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
ベイクレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
日本エム・ディ・エム		日本	精密機器	人工関節など医療機器・器具
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
現金等				6.7%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年8月末現在 >

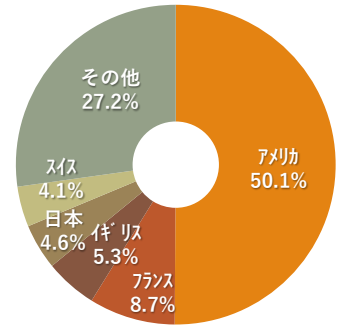
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



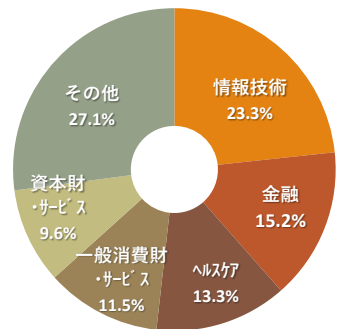
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	2.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 TSMC	2.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
3 Microsoft	1.9%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
4 Broadcom	1.8%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
5 Novo Nordisk	1.6%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
6 AIA	1.6%	香港	金融	生保・金融サービス
7 Apple	1.5%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
8 Visa	1.5%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
9 UnitedHealth	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
10 Alphabet	1.4%	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの持ち株会社
上位10銘柄	17.3%	現金等	7.2%	

業種別構成比



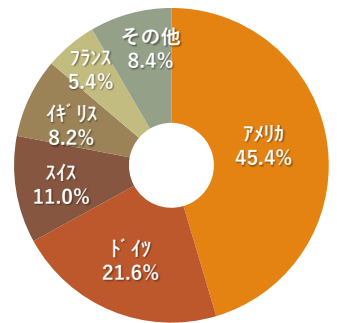
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年8月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



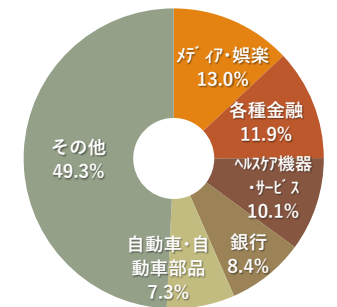
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	6.7%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 BNP PARIBAS	4.1%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 BAYER	4.1%	ドイツ	医薬品・バイオ	大手化学医薬品メーカー
4 ALLIANZ	3.9%	ドイツ	保険	総合保険大手
5 DAIMLER	3.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
6 BERKSHIRE HATHAWAY	3.8%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
7 CREDIT SUISSE	3.7%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
8 HCA HEALTHCARE	3.4%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	米大手病院経営会社
9 GLENCORE	3.2%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
10 KEURIG DR PEPPER	3.1%	アメリカ	食品・飲料・タバコ	清涼飲料メーカー
上位10銘柄	39.9%	現金等	2.7%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年8月末現在>

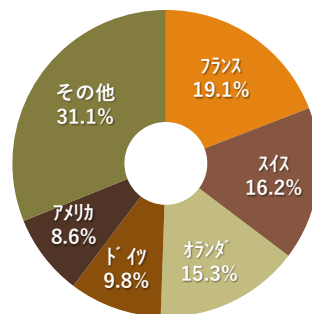
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



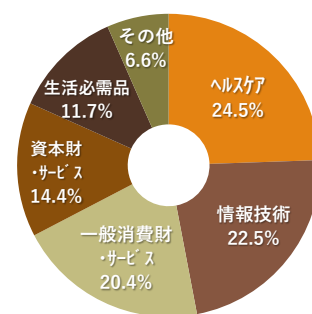
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	6.4%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 NOVO NORDISK	4.4%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 LINDE	4.3%	ドイツ	素材	産業ガス世界大手
4 ICON	4.2%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品開発受託
5 ROCHE	3.9%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
6 ACCENTURE	3.6%	アメリカ	情報技術	総合コンサルティング会社
7 EXPERIAN	3.4%	イギリス	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
8 ESSILORLUXOTTICA	3.4%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
9 LVMH	3.1%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
10 INDITEX	3.1%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
上位10銘柄	39.7%		現金等	8.8%

業種別構成比(マザーファンド)



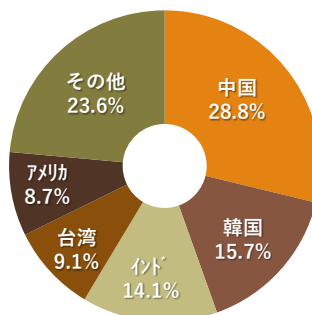
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年9月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



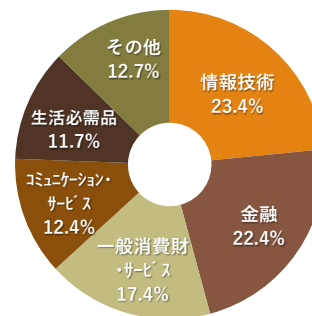
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	6.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 HOUSING DEVELOP. FINANCE	5.8%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
3 SAMSUNG ELECTRONICS	5.2%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 TENCENT	4.6%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
5 FOMENTO ECONOMICO	4.1%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
6 ALIBABA	3.7%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引サイト
7 INNER MONGOLIA YILI	3.7%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
8 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.7%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
9 SANLAM	3.4%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
10 MARUTI SUZUKI	3.3%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
上位10銘柄	43.8%		現金等	3.7%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年9月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

取引残高報告書について

今回、「2021年7月～9月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

- ※ 口座に残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎に「取引残高報告書」にてご報告いたします。

「お取引の明細と預り金の残高明細」の見方

記載対象期間内にお取引された明細および作成日現在のお預り金の残高です。

- ※ 最後に表示される「お預り金」につきましては、“作成日現在”でユニオンファンドの買付が完了していない場合にはその金額が、完了している場合には「0円」が表示されます。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決算日)	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成日（2021年9月30日）現在の基準価額です。
評価金額	作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出しておりません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。